

回答者：福本繁幸さん

- ① 高校授業料無償化に、賛成
- ② コシヒカリ環一号導入に、賛成
- ③ ローカルフード法案に、賛成
- ④ 選択的夫婦別姓に、賛成

**⑤ 農業政策についての考えをお聞かせください。**

○オーガニックビレッジ宣言市町

持続可能な農業推進の取り組みで、地域の食文化や生態系の保護に寄与しますが、オーガニック認証のコストが中小農家にとっての負担となるため、補助金や税制優遇が必要。

○グリホサート

農薬として広く使用されていますが、その安全性に疑問があり、持続可能な農業の実現に向けて農薬依存の削減と代替手段の推進が必要。

○農業者の高齢化

高齢化が進み、特に小規模農家の後継者不足が深刻。若者を農業に引き込むための研修や資金援助、労働環境の改善が必要。

これらの要素を考慮し、地域特性を活かした政策を通じて持続可能な農業の実現が期待されます。

**⑥ 学校給食についての考えをお聞かせください。**

学校給食について1

○地産地消

地元の農産物を使用することで、地域経済の活性化や食材の鮮度向上が期待でき。また、子供たちに地域の食文化を理解させる良い機会にもなります。

○オーガニック

オーガニック食材を取り入れることで、健康的な食生活を促進し、アレルギー対策にもつながります。また、環境への配慮にもなります。

○無償化

無償化により、経済的負担を軽減し、すべての子供が平等に質の高い給食を受けられるようになります。教育機会の均等化にも寄与します。

これらの要素を取り入れることで、学校給食はより健康的で持続可能なものになると考えます。

**⑦ エネルギー政策についての考えをお聞かせください。**

エネルギー政策は、持続可能性、環境保護、経済の安定を目指す必要があります。

再生可能エネルギー

○メリット

環境負荷が少なく、無限の資源を利用可能。

○デメリット

発電量が天候や季節に依存するため、安定供給の課題がある。

石炭火力発電

○メリット

低コストで安定した発電が可能。

○デメリット

高い二酸化炭素排出や環境汚染が問題視され、規制が厳しくなっている。

原子力発電

○メリット

低炭素で大量の電力供給が可能。

○デメリット

放射性廃棄物の処理や安全性への懸念がある。

バランスの取れたエネルギーミックスの形成が、持続可能な未来の実現には不可欠です。

**⑧PFAS 汚染への対応について、考えをお聞かせください。**

PFAS 汚染への対応は、多角的なアプローチが求められ、重要な対策が必要。

○規制の強化

PFAS の使用を制限し、規制を制定することが重要。

新規化合物の市場投入を厳しく管理する必要。

○環境モニタリング

PFAS の水質や土壌の定期的な監視を行うことで、安全基準を超える汚染を早期に発見し、対応が必要。

○浄水技術の導入

PFAS を効果的に除去できる浄水技術を導入し、飲料水や廃水を安全に保つ必要がある。

○教育と啓発

PFAS の健康リスクや適切な管理方法について、一般市民や企業への教育を強化することが重要。

○研究と開発

PFAS の影響を減少させるための新しい材料や処理技術に対する研究を推進し、持続可能な解決策を見出すことが求められる。

PFAS による環境や健康へのリスクを軽減することが重要です。

**⑨地方自治法改正について、考えをお聞かせください。**

地方自治法改正

○権限の拡充

地方自治体に対して、より広範な自治権を与え、地域の特色に応じた施策を実施が必要。

○住民参加の促進

地方議会や行政は、住民の意見が反映される仕組みを作り、民主的な意思決定を強化しが必要。

○情報公開の強化

地方自治体の透明性を向上させ、住民が行政の情報を得やすくする必要がある。

地域の課題に対して迅速かつ効果的に対応できる体制が重要。実施にあたっては地方自治体の実情に応じた調整や運用面での工夫が求められる。

**⑩子どもたちが健やかに成長していくために、今の教育の問題について、どんなところを変えていきたいとお考えですか。**

子どもたちの健やかな成長

○個別化教育の推進

学生の能力や興味に応じたカスタマイズされた学習プランを導入、一人ひとりの成長をサポート。

○創造性と批判的思考の育成

詰め込み教育から脱却し、問題解決能力や創造力を高めるためのプロジェクトベースの学習を強化。

○メンタルヘルスのサポート

学校でのメンタルヘルス教育やカウンセリングを充実させ、子どもたちがストレスや不安に対処できる環境を提供。

○親や地域との連携

教育現場と家庭、地域社会が連携し、子どもを取り巻く総合的なサポート体制を築く。

子どもたちが多様な可能性を持って成長できる環境を整えたいと考えます。

**⑪県職員が気持ち良く働くために、どうしたらいいと思いますか。**

県職員が気持ち良く働くためには

○コミュニケーションの促進

定期的な意見交換やフィードバックの場を設け、職員同士の関係を良好に保つ。

○働きやすい環境の整備

快適な職場環境や効率的な作業スペースを提供し、ストレスを軽減。

○ワークライフバランスの尊重

柔軟な勤務形態を導入し、個々の生活に配慮した働き方を支援。

○成長の機会の提供

研修やスキルアップの機会を設け、職員のキャリア成長を応援。

○感謝の文化の醸成

努力や成果を認める文化を作り、職員のモチベーションを高める環境。

職員の満足度と生産性が向上をめざす。

送信日時: 2024/10/28 23:50